

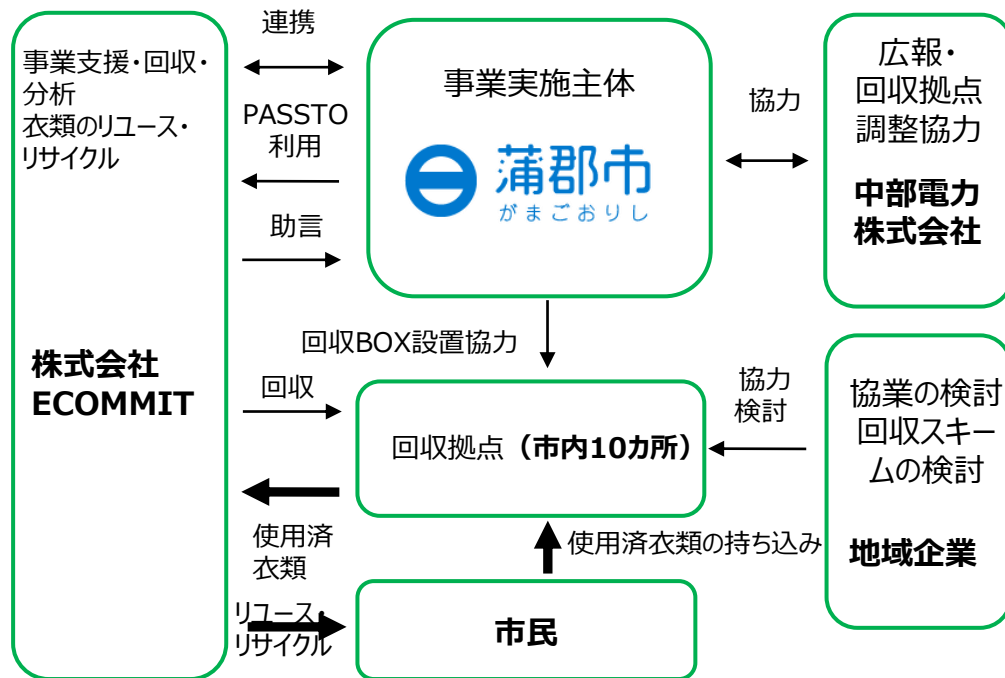
「捨てない社会をかなえる」使用済衣類回収・循環のインフラ構築に係るサーキュラシティ実証事業（愛知県蒲郡市）



- 市内の民間店舗と協力して市内で発生する使用済衣類をリユース・リサイクルし、焼却ごみを減らすことができる官民が連携した自治体モデル
- 回収した衣類の再利用先・CO2削減量などを明示することで市民の意識の向上につながった。
- 一部店舗では継続して回収BOXを設置。さらなる推進のため、行政区を超えたエリアとしての連携、雑貨（粗大ごみなど）と一緒に回収することで事業継続性・事業拡大の可能性も高まる。

事業の全体像

生活導線上に使用済衣類回収BOXを設置し、使用済衣類を回収。回収した衣類をリユースを優先とした再流通の循環インフラを構築。



取組の様子



（店舗におけるPASSTO設置）



（リユースイベントの様子）

取組の成果

- 使用済衣類の回収量 4,542.7kg
- 資源循環率 98.7%
 - リユース 79.8%
 - リサイクル 18.9%
- CO2削減効果 2370.5kg（単純焼却費 63%削減）
- PASSTO利用後の意識の変化があった方の割合 92%（利用者アンケートによる）

「サステナブルファッション・プラットフォーム（仮称）」設置に向けた実証実験 （エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社）



- 大阪府内65の使用済衣類回収拠点を、企業・官民の枠を超え協働で展開、消費者視点での統一的な情報提供
- 回収・選別を大阪府内で一元化することで、効率的な回収からの循環（リユース、リサイクル）を実現
- シンプルかつ訴求力のある「デカボスコア®」により効果を測定・可視化
- 連携団体の多様なネットワークにより、再資源化・再製品化の可能性を可視化

事業の全体像

「oHOHo CYCLE PROJECT」として
大阪府内で使用済衣類の協働回収を1府2市10社で連携して実施

連携団体



取組の様子



各社既存回収ボックスに共通ツールを使用

共通ボックスを作成

取組の成果

- 期間：2024年10月9日(水)～12月1日(日)（54日間）
※拠点により異なる
- 回収拠点数：65拠点（目標比130%） ※単日イベント1拠点含む
- 回収量：4,932kg（目標比98.6%）
- 選別割合：リユース83.5%、リサイクル13.4%、サーマルリサイクル3.1%
- CO2排出量削減率：



(27,209kgCO2e → 648kgCO2e)

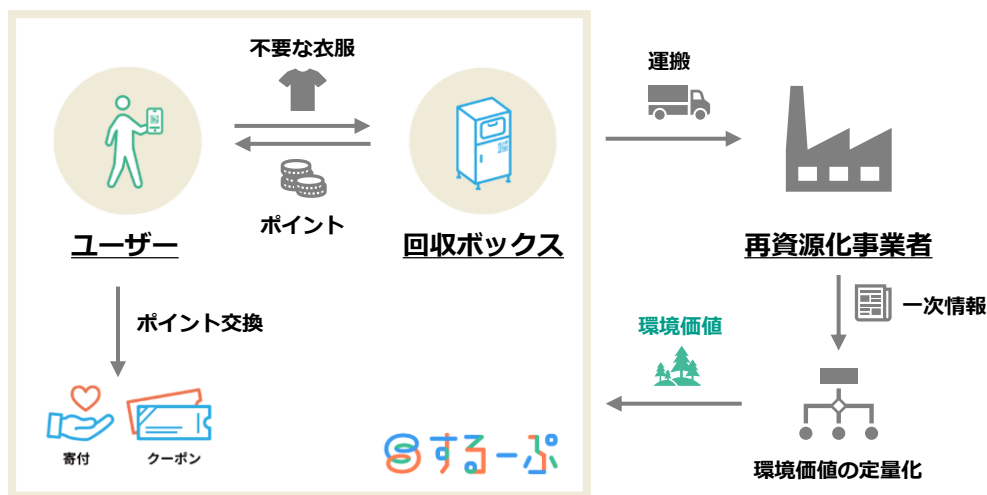
横浜市における衣類回収サービス「するーぷ」の展開による衣類回収スキームの構築及び衣類のライフサイクルに関する一次情報の収集と環境価値の定量化（JGC Digital株式会社）



- 横浜市内の5カ所で、無人対応の回収ボックスとインセンティブ提供が可能なモバイルアプリケーションを組み合わせた衣類回収サービス「するーぷ」による衣類回収の実施。
- 回収衣類の再資源化における一次情報の取得（再資源化先、設備稼働情報 等）による、環境価値の定量化の実施。

事業の全体像

回収ボックスの設置は相鉄グループ・三菱地所プロパティマネジメント株式会社、回収衣類の再資源化はナカノ株式会社と連携して事業を実施。環境価値の定量化に関しては、東京大学中谷准教授・早稲田大学天沢准教授の監修の元、日本エヌ・ユー・エス株式会社と共同で実施。



取組の様子



回収ボックス設置
@横浜ランドマークタワー



分別後の回収衣類

取組の成果

- 衣類回収
 - アプリ登録者数 : 約6,100 人
 - 衣類回収回数 : 約9,700 回
 - 衣類回収重量 : 約15.1 トン
- 環境価値の定量化
 - CO2削減量 : 最大約85.06 t-CO2

(ナカノ殿からの提供データを基に、製品代替率を100%と仮定して算出した場合)

地方自治体の環境イベントで実施するこども服の譲渡会（新たな官民連携プランの構築） （ゼンドラ株式会社）



- 行政庁舎・子育て支援センター・公立保育園・地域内クリーニング店にてサイズアウトしたこども服を回収し、同エリアの環境啓発イベント（エコまつり）にてこども服の無償譲渡会を実施する。
- リユースを体感することで住民の行動変容を起こし、同時に子育て支援への福祉経済効果も生み出す。
- 福祉経済効果（住民への価値提供額）を明確にして、他の自治体への取り組みを促進させる。

事業の全体像

神奈川県藤沢市および市内のクリーニング店と連携し、こども服の無料回収を実施。市民会館で開催の環境イベントにて無償譲渡会を実施しました。

ご家庭で不用になった
**こども服を
回収します**

我が家では使わなくなったけど、捨てるにはもったいない…。
ご家庭で眠っているこども服はありませんか？
ご提供いただいたこども服は、
11月9日(土)ふじさわ環境フェア
Eco2(エコエコ)まつりの
「こども服の譲渡会」へ提供いたします。

回収期間
9月10日(火)
～10月27日(日)

回収対象アイテム
新生児～160cmのこども服
・洗濯済みのもの
・傷や汚れのないもの

回収対象外アイテム
汚れのひどいもの、体操着、
下着、靴下、水着、布おむつ、
制服、おもちゃ、靴、バッグ、
雑貨

11/9 藤沢市民会館 ふじさわ環境フェアEco2まつりにて
「こども服の譲渡会」開催決定

このチラシのQRコード▶

回収の告知チラシ

地域で循環
リユースイベント

**こども服の
譲渡会**

サイズアウトして着られなくなったこども服(古着)を
必要としている方に無料で差し上げます！
※おくるみの方にお渡ししますので、枚数制限を設けていただく場合がおります

11/9(土) 10:00～15:00(予定)
第27回ふじさわ環境フェア Eco2まつり2024
会場：藤沢市民会館(藤沢市昭和町8-1)

こども服の無料回収も行っています
こども服の回収

回収できるもの
新生児～160cmのこども服
・洗濯済みのもの ・傷や汚れのないもの
※おくるみの場合はEco2まつり会場にて回収いたします
※お着せ替えセットは回収できません

回収できないもの
汚れのひどいもの、体操着、
下着、靴下、水着、布おむつ、
制服、おもちゃ、靴、バッグ、雑貨

イベント主催：(協賛)ふじさわ環境フェア実行委員会 協賛：ゼンドラ株式会社・株式会社ふじさわ・ふじさわ市環境課
【このチラシの裏面に詳細な回収方法・受付時間・お問い合わせ先が記載されています】 TEL:03-6821-6611 FAX:03-6821-6612 東京都文京区本郷5-5-57F
※協賛：ゼンドラ株式会社(〒103-8265 東京都中央区新富1-10-10 新富ビルディング5F)

譲渡会の告知チラシ

日時・場所・内容・条件など記載事項が多く
デザインは見やすさ・わかりやすさを重視しました

取組の様子



保育園でのこども服の回収
BOX内は良質なこども服で
いっぱいになりました



こども服の譲渡会の様子
10時開場前から行列ができ
枚数無制限で持ち帰りました

取組の成果

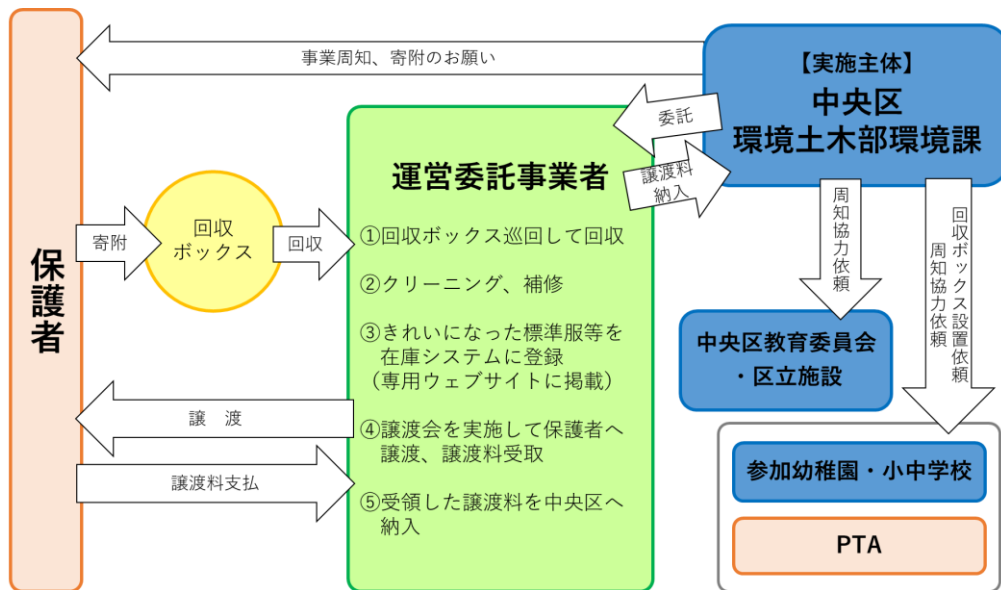
- 回収は市役所本庁舎・子育て支援センター・公立保育園・クリーニング店の計29施設で実施し、合計1,914kgのこども服を回収
- 譲渡会では349kg・2,341枚の服を市民に無償提供し
イベント来場者は、約270世帯・700名が参加
- 市民への価値提供額（福祉経済効果）は、591,923円を達成
- リユース率は18.24%（残衣類は他の譲渡会で配布していく）
- モデル事業中に2自治体（東京都文京区・新潟県燕市）と共催で譲渡会を実施でき、今後は他の自治体へ広めていきたい。

中央区標準服等リユース事業「りゅぽ〜と」(中央区)

- 卒業や成長に伴い着用しなくなった標準服・園服の寄附を募り、クリーニング、ボタンの付け直し等の補修を行った上で、必要とする人に有償（クリーニング等実費相当額）で譲渡する事業
- 他自治体から同様の事業を行うに当たっての問い合わせ等があった際には、本事業の実施により蓄積した情報の提供を行う。

事業の全体像

参加幼稚園、小中学校に回収ボックスを設置し、中央区が運営を委託した事業者が回収、クリーニング等をしたうえで譲渡会を実施し、保護者へ譲渡する。



取組の様子



回収ボックス



譲渡会場の様子

取組の成果

- 参加園・校：17カ所
回収ボックス設置：15カ所
- 譲渡会実施：4回（9月から12月まで月1回実施）
- 回収数等の結果は以下のとおり（6月21日～11月末の実績）
 - 回収数：439点
 - 譲渡の在庫となった数：328点
 - 譲渡数：116点

子ども服リユース「おゆずりぐるり」～市民団体と行政の協働による使用済み子ども服の回収・配布の推進と仕組みづくり～ (特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21)

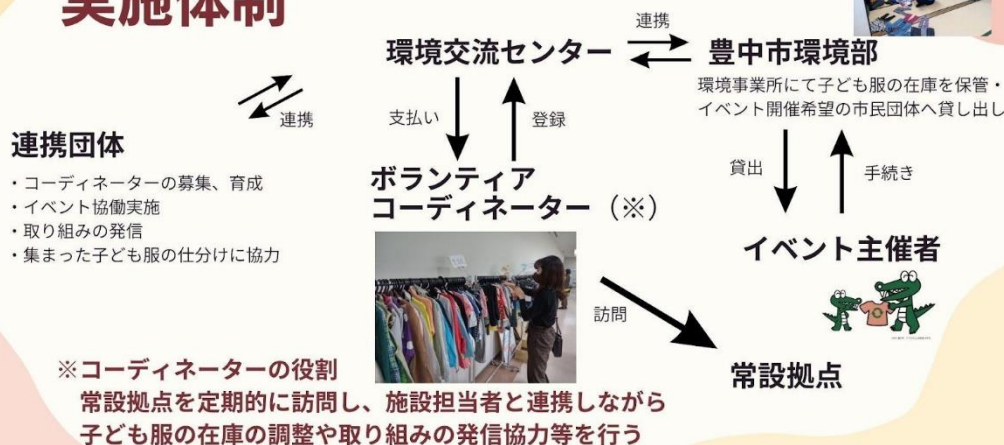


- 各家庭で眠っている使用済み子ども服について、豊中市内の公共施設等の常設拠点や、図書館等のイベント会場で回収、無料配布を行った。また、110cm以上のサイズが供給不足であったため、小学校やコープこうべの店舗に回収ボックスを設置。
- 常設拠点の職員は子ども服の補充等の対応が十分にできないことも多いため、コーディネーターやボランティアがサポート。取組みのノウハウをまとめたコーディネーターの手引きも作成。
- シミ・汚れなどリユース困難な子ども服を原材料にした回収ボックスの制作等を実施。

事業の全体像

子ども服は豊中市や環境交流センターが保管して相互に連携。イベントは環境交流センターと連携団体が協力実施。常設拠点は、連携団体のコーディネーターと、募集した市民のボランティアが訪問。

実施体制



取組の様子



常設拠点での回収・配布



イベントの実施

取組の成果

- 事業の達成状況
 - 子ども服の配布 11,844枚、回収 16,912枚、参加者 3,541人
 - ボランティア体験会 参加者23人（うち登録19人）
- 事業の効果
 - 豊中市の資源化可能な繊維類の削減の約0.23%
 - 豊中市の家庭部門から排出されるCO2の約0.043%
 - 子ども服配布による家計支援の効果 約590万円相当（概算）